令和7年度 第1回医療安全監査委員会議事要旨

日時 令和7年8月28日(木) 13:00~14:36

場所 浜松医科大学医学部附属病院 多目的ホール

出席者 熊田 恵介委員長、坪佐 恭宏、大磯 義一郎、左右田 泰丈の各委員

陪席者 竹内病院長、三澤医療安全管理責任者(副病院長・医療安全管理室長)、川上医薬品安全管理責任者(薬剤部長)、鈴木(明)ゼネラルリスクマネージャー(以下:GRM)、山村 GRM、八木 GRM、石田 GRM、阿部 GRM、鈴木(祥)GRM、神谷診療放射線技師長(代理:五島医療放射線安全管理責任者)、江間副臨床工学技士長(代理:中島医療機器安全管理責任者)、正木事務局次長、毎田病院総務課長、揚張病院総務課課長補佐、山本医療安全推進係長、大須賀医療安全推進係主任、江間医療安全推進係員

議事に先立ち、病院長及び各委員の紹介及び挨拶があった。

《議事》

報告事項

1. 医療安全管理室の患者安全に係る取り組みについて

阿部 GRM から資料1に基づき、病院施設の老朽化による受傷事例に対する検証結果および改善策、その後の評価について説明があり、医療安全管理室の取り組み等を確認した。

委員からは、医療機器以外の設備管理については、病院施設の老朽化が進む中で、更新や整備の必要性が高まっているものの、昨今の病院経営の厳しさから苦慮しているとの意見もあり、計画的な対応が求められる状況であることを共有した。

2. 医療安全管理委員会の活動状況について(令和7年1月~令和7年7月)

山村 GRM から資料2に基づき説明があり、活動状況等を確認した。

研修医や若手医師への教育については、インシデント報告の促進を含めた医療安全の意識向上を図る取り組みを継続し、大学病院としての使命に基づく医師育成の重要性について改めて認識を共有した。

3. 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品、未承認新規医療機器を用いた医療提供について(令和6年4月~令和7年3月)

山本係長から資料3に基づき、高難度新規医療技術の申請・承認件数、実施報告件数及び実施報告完了した症例のモニタリング実施状況について説明があり、適切に実施していることを確認した。

4. 入院患者の死亡事例の報告について(令和6年4月~令和7年3月)

鈴木(明)GRM から資料4に基づき、令和6年4月~令和7年3月の入院患

者の死亡事例の報告について説明があり、医療安全管理部門に適切に報告・検証されていることを確認した。

5. 死産事例の報告について(令和6年4月～令和7年3月)
鈴木(明)GRMから資料5に基づき、令和6年4月～令和7年3月の死産事例の報告について説明があり、医療安全管理部門に適切に報告・検証されていることを確認した。
6. インシデント影響レベル 3b以上事例について(令和6年4月～令和7年3月)
山村 GRM から資料6に基づき、令和6年4月～令和7年3月のインシデント影響レベル 3b 以上事例について説明があり、医療安全管理部門に適切に報告・検証されていることを確認した。また、鈴木(明)GRM から院内事故調査委員会での検証事例の経過および検証体制と検証内容の説明があり、適切に実施していることを確認した。
7. 医療安全に関する研修の受講状況について
山本係長から資料7に基づき、医療安全に関する研修の受講状況について説明があり、医療法に則り適切に実施していることを確認した。また、病院機能評価にて指摘された BLS 研修の受講状況について、全職員の受講を確認した。
委員から、医療安全講習会のアンケートには、有益な意見が含まれていることもあるので、今後の改善に活かしてほしいとの意見があった。
8. その他
  - ・医療安全ニュース
山村 GRM から資料 8 に基づき、患者安全に関することを院内へ周知するため医療安全ニュースを配布していると説明があった。
  - ・院内ラウンド
内視鏡センターのラウンドを行い、手術検体の摘出から病理部門への搬送までの一連の流れを確認した。
設備の整備状況や AI 技術の導入について説明があり、委員からは個別対応の実施状況を評価する意見があった。

《講評》

委員長から、外部監査委員会を行った結果、安全管理は適切に行われているとの評価があった。

次回開催は、令和8年2月5日(木)浜松医科大学医学部附属病院 多目的ホールで行う。